

活動レポート

特定非営利活動法人 NPO メビウス

今回は、障害者といわれる人達の生活、就労、社会環境などさまざまな問題解決に取り組んでいる、特定非営利活動法人 NPO メビウスを紹介します！



代表 河本博文さん



事務局長 吉岡ゆかりさん

平成23年度 山口県
県民活動きらめき財団
理事長表彰



※ この表彰は、長年、営利を目的としない自主的な公益活動を行っている団体・個人を表彰するものです。

1 NPO メビウスはどんなことをしているの？

障害者の働く場である、福祉作業所『海月倶楽部』の運営をしています。

『海月倶楽部』では、手工芸品の製作・販売、アルミ缶の回収、パソコンを使用した各種サービス、月刊誌発行、利用者への資格取得支援などを行っています。

3 なかには難しい作業もあると思いますが…

始めは「難しいからできない」と言われることはありますが、そういうときは、どこが難しいのか、どうすればできるようになるのか一緒に考え、解決していきます。それを一つ一つなくしていくことで、始めはできなかった作業ができるようになり、作業のスピードも上がり、本人の自信になっていきます。

また、解決策を試行錯誤していくうち、「こんなこともできるんだ！」と、『職人さん』の新たな技能の発見がときどきあることが、とても素敵で面白いです。

2 利用者の方は、1つの仕事を1から10まで全て1人で行うそうですね。

利用者の方（ここでは『職人さん』と呼んでいます）が初めて来られた際には、まずは色々な作業をしてもらいます。一人一人必ず適している作業があるので、それが見つかったら、職員が工程を少しずつ教えて、その『職人さん』の仕事にしていきます。



『職人さん』たちの作業の様子

一輪差しや編みかご、きんちゃく袋など。←

ビーズや手芸専用糸で作ったストラップ。↓
製品の値段は、100～2,000円ほどです。



製品は、海月倶楽部や JA 周南の「菜さい来んさい」各店舗、国民宿舎大城、進物の「大進」徳山・岩国店、ふるさと産品の店「こあ」などで販売しています。



4 収益の一部を寄付されているそうですね。

今年の4～6月の売上の一部を、東日本大震災の義援金として寄付させていただきました。

また、『おぎゃー献金』という、献金が障害をもつ子ども達のために使われる募金活動があるのですが、「自分達はもう障害『児』ではないけれど、未来の子ども達のために何かできたら」という思いがあり、そこへの献金を昨年から続けています。

5 みなさんにメッセージを！

NPO メビウスでは、海月倶楽部という場所で、挨拶など一般的なマナーを身に付けたり、常に人のことを考えて行動することを大事にし、日々楽しく仕事をしています。

利用者さん、大募集してます！

（障害者手帳をもっている18歳以上の方が対象です）



【問合せ先】

特定非営利活動法人 NPO メビウス
(海月倶楽部の運営をしています)

TEL 0834-22-6191

E-MAIL kurage_club_office@ybb.ne.jp